

令和3年度 広域産業振興局事業 期末評価

資料2-2

R3目標	R3実績	課題等	方向性	担当課
○関西スタートアップ・エコシステムの推進				
・関西スタートアップのポテンシャルの発信強化（新規）				
-	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信戦略の策定 ・サイト開設 	<ul style="list-style-type: none"> ◇京阪神コンソーシアムとの連携 <ul style="list-style-type: none"> ・エンジンとなる京阪神を動かし、域内他地域へメリットを展開できる仕掛け・仕組みの構築 ◇域内の各取組の相互乗り入れ型の促進 ◇Webサイトのアクセス解析等エビデンスに基づく分析、反映 	<ul style="list-style-type: none"> ○ポータルサイトに情報を集約・一元化し、構成府県市内で行われるイベントを幅広くカバーしたイベントカレンダーの共有をはじめ、域内リソースの有効活用を図ることで、京阪神をはじめとした構成府県市の取組との相乗効果を図る。ポータルサイトの充実をはかりつつ、域内での広域的連携の機運醸成に努める。 ○Webサイトの分析 <ul style="list-style-type: none"> ・サイトの運営に加え、半期ごとのアクセス解析やSEOコンサルティングについて委託事業者と連携の上、取り組む予定。 	スタートアップ支援課
○ライフサイエンス分野におけるイノベーション創出に向けて				
・「メディカル ジャパン」等を活用した関西のポテンシャル発信・強化				
BioJapanマッチング件数 参加企業数 ×6倍以上 ○	BioJapanマッチング件数 参加企業数 (11件) ×7 倍=77件	<ul style="list-style-type: none"> ◇バイオジャパン <ul style="list-style-type: none"> ・海外へ訴求力の高い(マッチング打率の高い)企業の発掘・収集 ・関西のポテンシャルを効果的にPRできる講師の選定 	<ul style="list-style-type: none"> ○バイオジャパン <ul style="list-style-type: none"> ・参画する海外企業のターゲット分野、レベル感等のリサーチ ・バイオコミュニティ関西との連携強化 	ライフサイエンス産業振興課
-	ブース来場者数2,015人 バーチャルブース閲覧者： 1,374件	<ul style="list-style-type: none"> ◇メディカルジャパン <ul style="list-style-type: none"> ・7年間の総括（別紙参照）（継続についての検討） 	<ul style="list-style-type: none"> ○メディカルジャパン <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の実績等を勘案し、構成府県市間で協議 	

令和3年度 広域産業振興局事業 期末評価

R3目標	R3実績	課題等	方向性	担当課
・医療機器分野への参入に向けた医療機器相談の実施				
相談件数 250件以上 △	相談件数 216件	◇利用促進	○チラシ・HP・メルマガを活用したPR方法の強化	ライフサイエンス産業振興課
○グリーン分野におけるイノベーション創出に向けて				
・「グリーン・イノベーション研究成果企業化促進フォーラム」の実施				
参加者〔200人以上〕 マッチング件数〔フォーラム発表数（7人）の5.5倍以上〕 ⇒39件 ○	参加者〔201人〕 マッチング件数〔フォーラム発表数（7人）の7.7倍以上〕 ⇒54件	◇マッチング機能の強化	○オンライン参加者から講師やシーズ発表者等へのアプローチ手法について検討	グリーン産業振興課
○新たな分野でのイノベーションの創出に向けた環境整備				
・企業のイノベーション創出を支援する広域的プラットフォームの構築				
「かんさいラボサーチ」アクセス件数〔23,000件以上〕 産業技術支援フェア参加者数〔250人以上〕 ×	「かんさいラボサーチ」アクセス件数〔17,500件〕 産業技術支援フェア参加者数〔402人〕 パネルセッションダウンロード数1,517件	★関西の産業力の強化を目的とした広域的プラットフォーム構築事業へシフト		ものづくり支援課

令和3年度 広域産業振興局事業 期末評価

R3目標	R3実績	課題等	方向性	担当課
○SDGsの達成に取り組む企業への支援				
・関西プラスチックごみゼロ推進事業				
展示商談会等の 総来場者数 〔1,000人以上〕 ○	展示商談会の総来 場者数〔1,602人〕 (3月10日時点) (うちオンラインマッ チングサイト閲覧者： 656人、マッチング件 数：集計中)	◇SDGs対応技術展 ・ウェブマッチング機能の強化 ◇プラスチック検討会の取り組みとの連携 ・調査結果等の有効活用	○事業連携先の大阪産業局と協議・検討 ○プラスチック検討会が、R4から、プラ代替素 材普及に向けたモニタリング事業を実施。 SDGs対応技術展の出展企業との マッチング等について協議中	産業振興企画 課
・スモールビジネスの情報発信				
事例の収集・発信 件数 〔7件以上〕 ○	事例の収集・発信 件数 〔7件〕	◇「from NOW ON KANSAI」の活用を検討		産業振興企画 課
○ニューノーマル時代における企業の成長支援				
・企業のICT等の取組み推進に向けた情報発信機能の強化（新規）				
WEBセミナー視聴 回数 〔1,000回以上〕	WEBセミナー視聴 回数 〔572件〕(3月22 日時点) (うちアーカイブ動画 視聴数261件)	◇常時視聴可能な動画コンテンツ等の 検討 ◇データの利活用に関して、大学や自治 体と企業との事業連携について検討。	◇動画への協力企業、好事例等の発掘 ○大学等の取組をリサーチの上、R4年度に 事業の企画検討	産業振興企画 課

令和3年度 広域産業振興局事業 期末評価

R3目標	R3実績	課題等	方向性	担当課
○地域魅力の発信・マーケットの拡大支援				
・ものづくりをはじめとする地域魅力の発信				
-	イベント会場への来場者数：9,648人 ECサイト閲覧者：142人 売上：147,574円	◇国内プロモーション 関西ディーブローニング（×誠品生活） ・ECサイトへの誘導手法の検討 ・併設イベント等の検討	○課題解決に向け協議の上、誠品生活との連携を継続予定	産業振興企画課 経済交流促進課
展示販売会場への来場者数〔計500人（1日50人×10日間）〕 ×	参画日本企業 16社 展示販売会場への来場者数 60人 現地バイヤーとの商談 290件→4社5件（集計中）	◇海外プロモーション コロナ禍における現地での展示販売会の集客、PRが不十分	○効果的な告知、PR手法等について現地委託業者と協議検討 【令和4年度】 令和3年度の事業参加企業を中心に優良製品を抽出し、現地の展示会※へ出展予定 ※オンライン展示を併設したブランドカのある展示会を選定中	
「CRAFT14」HPアクセス件数〔4,300件以上〕 ×	「CRAFT14」アクセス件数〔2,891件〕	◇リアル事業からサイトへの誘導方法の検討 ◇新たな地域資源の発掘	○連携事業者等と協議、検討 ○新たな地域資源のブランド認証再開等について検討	
-	・ドバイ万博日本館への関西PR製品出展協力 ・シャルジャブックフェアでの関西PR ・英字フリーペーパーでの関西PR	◇広域観光局等と連携した関西域内への呼び込み・周遊につながる仕掛けの検討	○広域観光局と協議のうえ連携事業の企画検討	

令和3年度 広域産業振興局事業 期末評価

R3目標	R3実績	課題等	方向性	担当課
○人材の確保・育成施策の推進				
・人材検討会の運営				
-	-	◇人材検討会のあり方検討		産業振興 企画課
・「from NOW ON KANSAI」の発行（人材確保・育成情報の発信）				
発行回数 〔3回以上〕 産業人材HPアクセス数：2,600件 ○	発行回数 〔1回〕(2月末時点) 産業人材HPアクセス数：2,736件（2月末時点）	◇人材関連の情報誌として刊行しているが局全体の横断的テーマでの活用等、より効果的な活用方法の検討要	○広域産業振興局の情報誌として刷新、増刊を検討 ・人材確保・育成に限定せずビジネスに関する幅広い情報を発信するツールとして活用	産業振興 企画課
○情報発信機能の強化				
・広報活動の実施				
広域産業振興局HPアクセス件数 〔30,000件以上〕 ○	広域産業振興局HPアクセス件数 〔26,796件〕(2月末時点)	◇企業会員の増加 ◇アクセス拡大 ◇局内他サイトとの相乗効果を勘案し、内容を整理	○域内中小企業家同友会各支部との連携 ○更新頻度の増、リンク先の開拓 ○HPの刷新に着手	産業振興 企画課